

アコモード

タイムズ

第51号

編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特別養護老人ホーム アコモード
- アコモード指定居宅介護支援事業所
- アコモードヘルパーステーション
- デイサービスセンター アコモード
- グループホーム アンダンテⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アザレアⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アヴァンセⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アメリアⅠ・Ⅱ
- 特別養護老人ホーム アクイール
- デイサービスセンター アクイール
- キッズルーム アクイール
- キッズルーム アコモード
- アンジェリカ保育園
- 我孫子市老人福祉センターつつじ荘
- 我孫子市布佐・新木地区地域包括支援センター
- 我孫子市我孫子南地区地域包括支援センター
- アコモード相談支援事業所

千葉県我孫子市布佐1559-2

Tel.04 (7189) 5201・Fax.04 (7189) 5203

日々 思うこと

ヨーロッパではロシアによるウクライナへの軍事侵攻、すなわち戦争が行われています。テレビではどのチャンネルも、どの新聞を試しても戦況を伝えるニュースばかりです。

日本が戦争に負け、二十年近くたつて生まれた私は、これまでに幾度となく世界中で起きた戦争に對しても何か他人事の心持でいました。メディアによる情報が豊富になった今、他人事ではない異様に切ない感覚を覚えています。

小学生の頃、学校の先生から戦争の多くは「領土」や「資源」、「民族」、「宗教」によって引きおこると教えていただいたことを思い出しました。人々の心の中にある様々な「欲」が爆発すると戦争が起こってしまうのでしょうか。

三年前から世界中で猛威を振るつた「新型コロナウイルス」が少しずつ収まりを見せ始めました。これまで多くの外国人の皆様が

EPA制度や留学、技能実習生として、日本で活躍されていました。コロナ禍の三年間、外国との人の往来が閉ざされ、街で外国人の方を見かける機会がめっきり減っていました。ここにきて徐々に見かけるようになりました。

日本にいらした外国人の皆様は、この国をどう見ているのでしょうか。未だ私たちの法人では、研修や就労を目的として来日した外国人の方が在籍したことがありませんが、今後はその機会もあるかもしれません。その時、彼らを温かく向かい入れ、共に向上するため手を取り合い努力できるのか、安心した生活を送ってもらえるのか。心底、仲間として受け入れられるのか、街で外国の方を見かける度にそんなことを思っています。

先に述べた「欲」を「人」、「国」、「世界」が「互いを認める心」に置き換えることが幸福な世の中に近づく気がします。

身近な私たちの施設やホームに目を向けると、日々三〇〇人以上

の高齢者の皆様や一〇〇名の障がいをお持ちの方々に對し私たち職員はお世話や支援を通じて関わらせていただいております。其々が主張を持ち時には入居者の皆様、利用者の皆様の「欲」がぶつかり合い喧嘩やいざこざに発展することも時々あるようです。施設やホームでの喧嘩やいざこざは、概ね一日で解決します。決して紛争や戦争に発展することはありません。ベテラン職員は、入居者の皆様、利用者の皆様の性格や嗜好を理解しています。いつもベテラン職員が仲を取り持つてくれます。

世界中の紛争の場面に、私たちのそばに居るベテラン介護員のような、温かく人を見守り、人と人を繋いでくれる人が現れることを強く望む今日この頃です。

特別養護老人ホーム アコモード

施設長 海老原 勤



アコモード 特養



ご入居者様の日常の写真を定期的にご家族様へ送付させて頂いております。多くのご家族様より好評をいただいております。

知らせる機会が少なくなってしまうこともあるが、日常の様子を少しでも発信するべく広報紙の紙面では、写真を増やす他に令和三年五月より、

しかしながら、以前と比べると頃頃の様子をお知らせする機会が少なくなってしまうこともあるが、日常の様子を少しでも発信するべく広報紙の紙面では、写真を増やす他に令和三年五月より、

施設の行事や誕生会もご家族様をお呼びしての開催はできていないのが現状です。
新年祝賀会や敬老会、クリスマス会といった行事もコロナ禍前と比べてしまうと少し寂しいものを感じます。
行事内容も縮小してしまうものもありますが、ご入居者様に楽しんで頂くべく、職員間で案を出しあって面白いイベントやアイスイベントを開催しております。
現在コロナ禍で面会制限を設けており、リモート面会や窓越し面会を行っております。パソコンの画面、窓越しではございますが、涙をうかべる方や笑顔を見られる方がいらつしやいます。

デイサービスセンター
アコモード

最初は、葉っぱだけのツリーでしたが、皆さんの手が入り日増しにキラキラ感を増し、十二月中頃にはゴージャスなクリスマスツリーが完成しました。

クリスマス会本番では、職員によるダンス、『ピンクレディーのUFO』、『マジックショー』と昨年も盛り上がりました。サンタが乗るソリもかなり派手に作成しました。

そして、皆様にささやかなプレゼントを配らせていただきました。

また、令和四年四月から相談員が旭田から上田に代わりました。久しぶりに会えて嬉しかった方も多いと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

十二月二十四・二十五日と毎年恒例のクリスマス会を開催しました。前年以上に感染症予防を配慮した構成、環境作り、換気等色々な面で今後の行事のための勉強になりました。



アクイール 特養



アクイールの年初め

鏡餅、しめ縄、門松、おせち…新しい年を迎える時期には、日本古来の伝統的な風習が数多くあります。ご入居前にはそれぞれのご家庭で行われてきたであろうそれらの風習は、当然アクイールでも大事にされていて、ご入居後も続けていただけるよう様々なご提供をしています。

その中のひとつ、お屠蘇は開設以降毎年続けている催しで、元旦に施設長がご入居者の皆様に盃をお渡しして回ることを恒例としています。健康上問題のない方には、ごく少量ですがお酒を口につけていただくので、毎年元旦を楽しみにしているご入居者も多くいらっしゃるかと。起きていることが難しい方にはお部屋のベッドまでお邪魔してお渡ししています。

新年の行事にはいずれも健康や長生き、平和に暮らせませうように、といった願いが込められているとのこと。私達も毎年気持ちを含めて伝統行事に願いを託し、皆様心安らかに過ごせるよう努めていきます。



デイサービスセンター アクイール

アクイールデイサービスに春が来た。

毎年デイサービスでは小林牧場、あけぼの山公園にお花見に出かけます。以前はお弁当を持って、桜を見ながら昼食を食べていたのですが、コロナウィルス感染予防の為、少人数で車内からのお花見になりました。色鮮やかなチューリップ、菜の花、そして満開の桜に囲まれて、写真撮影をし、ご利用者様きれい！と感激されていました。

また、四月には手賀沼遊歩道に行き、手賀沼の風を感じ散歩する事が出来ました。五月には、湖北台中央公園に行き、青空の中泳ぐ鯉のぼりを見てきました。

コロナウィルス感染症がなかなか収まらなく外出する機会が減っている中で、少しでもご利用者様に四季を感じて頂きたいと思っています。

令和四年四月から相談員が上田から五十嵐になりました。今後とも宜しくお願い申し上げます。



アンジェリカ

縁日(にっこ)

アンジェリカ三大行事の一つ。『縁日(にっこ)』全園児が参加し、お店の人とお客さんになりきって、夏ならではの経験をします。

さかなつり、ワニワニパニック、射的、絵あわせ、クジ引き、ボーリング、ボール投げ、わなげ等々グループごとに子ども達が準備したお店が並びます。

年長児がリーダーとなり、三・四・五歳児の混合グループで五月頃から少しずつ準備を進めてきました。

当日は、縁日の音楽に合わせ、どこのお店からも「いらっしゃいませ〜♡」「楽しいですよ〜」「来てください!」と、威勢のいい声が聞こえてきます!

乳児組さんもお客さんとなりお店の前へ...お祭りの雰囲気初めはドキドキしている様子の子もいましたが、お土産がもらえると、いつの間にかニコリ。

この日は特別に給食も縁日らしく、焼きそばにポテト!

最高の一日です!!

「順番に並ぼうね!」や、「小さいからまだ難しいよね。こーやってやるんだよ!」など、お兄さん、お姉さんが小さい子を受け入れ、またそんなお兄さん、お姉さんの姿をみて、憧れを抱いたり、楽しみなながらも、共に成長する機会にもなったようです。



アンダンテ

令和四年二月三日豆まきを開催しました。鬼の面をかぶり、ご利用者様それぞれがポーズをとり、記念撮影を行いました。記念撮影後は、テラスに出て豆まきを行いました。「鬼は外、福は内」の掛け声と共に、鬼に扮した職員めがけて、力いっぱい豆を投げるご利用者様、手加減をして優しく豆を投げるご利用者様がおられました。

豆まきが終わった後は、甘納豆を食べながらご利用者様の健康を願いました。

ご利用者様の笑顔が溢れ、職員も元気をもらいました。コロナ禍で外出もままならない日常生活の中で、ご利用者様にとつての行事は楽しみの一つであり欠かせないものです。

今後もご利用者様が楽しめる企画を立て、ご利用者様の笑顔が溢れる日常にしていきたいと思ひます。今後も職員が一丸となってご利用者様の支援に携わってまいります。



アヴァンセ

アヴァンセの一年

アヴァンセに配属させていただき一年が経ちました。相変わらずの新型コロナウイルスという得体のしれない感染症に振り回された一年でした。

感染予防のため、大きなイベント開催や交流会などには参加出来ませんでした。それでも、出来る事をちょっとずつ楽しみました。

春には、新玉ねぎの収穫、秋にはさつまいも掘り。取れたてのさつまいもを天ぷらにして食べられると思ひましたが、さつまいもは暫く寝かせないと美味しくならないそうです。すぐには食べられませんでしたが、でも、その後アツアツホクホクのさつまいも天ぷらを堪能しました!

ハロウィンやクリスマス会、防災に備え避難訓練も実施。避難訓練の際には消火器を使用し消火訓練も行いました。アヴァンセ利用者の方は初めて消火器を使って大興奮!「わー」「なにこれ!」と叫びながら訓練しました。大きなイベント開催は出来ませんが、毎日を笑顔で一緒に過ごせることが一番の幸せですね。でも、今年こそは利用者の皆様とバーベキューしたいです!



アザレア

アザレアでのひととき

新型コロナウイルスが猛威をふるう中、従来通りイベントを行うことは難しくなっています。大勢が集まると密になってしまうこともあり、少人数で規模を縮小しながら行ないました。

一年の中で大きな二大イベントがあります。一つは、ハロウィンです。もう一つは、クリスマス会です。ハロウィンは、皆さん様々な仮装をされて、楽しまれていました。職員も仮装をして皆さんに負けず劣らず似合っていました。



クリスマス会では、夕食はいつもと違い職員特製のロールパンサンドやチキン、スープ等クリスマスメニューを堪能しました。またクリスマスケーキやサンタさんからプレゼントをもらい皆さん満面の笑顔でした。コロナ禍ではありますが、非日常的なことを行なうことも楽しく普段見ることができない一面を見る事ができます。これからアザレアでのひとときを大切に過ごして行きたいと思えます。



アメリカ

「こどもの日」

五月五日は端午の節句で男の子の節句と言われ、男の子の成長を祝い健康をお祈りする日です。同時に五月五日はこどもの日で「こどもたちの人格を重んじ、幸福をはかるとともに、お母さんにも感謝する日」だそうです。

ということで、アメリカでは男性・女性を問わず、皆様の健康をお祈りして菖蒲湯をご用意して、皆様に入浴していただきました。

言い伝えでは、菖蒲を頭に巻くと、邪気が頭に入らなくなり健康になるとのことなので、さっそくやっていただきました。

「もうこどもじゃないからこんなの恥ずかしいよ」と、おっしゃる方もいましたが、笑顔で写真撮影に応じてくれました。この笑顔に邪気も逃げて行ってしまうそうです。でも皆様は菖蒲湯よりも柏餅で季節を感じたかったようでしたが……。

コロナ禍でなかなか外出することや、行事が行えない日々が続いています。そのような日々の中でも、小さな楽しみを見つけてお過ごしいただけるように、また一日も早く以前の様に制約のない生活が送れるようになることを願っています。



つつじ荘

今年度、つつじ荘は入館証が新しくなりましたので、お知らせ致します。入館証はQRコード（個人情報が入っておりません）が付き、入退館の際に読み取りを行っています。我孫子市の指示により、老人福祉センター利用状況のデータ収集が義務化された為です。利用者様のご理解、ご協力を頂き順調に（多少の混乱はありますが）稼働を始めました。

正面玄関にパソコンなどの機材が設置されると、「急にモダンにハイカラなっちゃう」と戸惑いのお声。「頑張っついでいきましよう！」という方からは「新しい事を避けてばかりでは老ける」とのご意見もあり職員もびっくりしています。

レトロな雰囲気と外観は全く変わりありませんが、今年度のけん玉教室は三回に一回を介護予防体操として企画しました。三十分ほどの短い時間ですが体を動かしてリフレッシュしませんか。皆様のお越しをお待ちしております。



障害者まちかど相談室

まちかど相談室では地域の障害やご病気ゆえのお困りごとについて、ご相談をいただいています。ご本人様ご家族様はもとより、近隣にお住いの方からご相談をいただくこともあります。

早急にお手伝いが必要で、かつ解決に相当な時間がかかるような大きな「困った」ご相談の1つの背後には29の頑張れば何とかご自身や周囲の方が解決できる中くらいの「困った」があり、1つの中くらいの「困った」の背後には100のちょっとした「困った」ことが蓄

積されていくものだと思います。この1:29:100は、本来事故に関して言われる割合ではありますが困りごとにも当てはまるように思っています。ぜひ、ちょっとした困りごとをご相談いただいてご自身も周囲の方も大きな「困った」が少なく、豊かな地域社会での生活が送れるようお手伝いさせていただきます。

まちかど相談室はアプローチも室内もそして相談員の心もバリアフリーになっています。いつでもお持ちしています。



布佐・新木地区 高齢者なんでも相談室

パーキンソン病のリハビリについて

パーキンソン病について聞いたことがある方もおられると思いますが、体のふるえ、動作がゆっくりとなる、筋肉がこわばり手足が動かしにくくなる、転びやすくなるなどの症状を特徴とする病気です。

原因としては脳の指令を伝えるドーパミンと呼ばれる物質が減ることによって起こります。現在の医療では根治する方法がないため、ドーパミンを薬で補う薬物療法と筋肉や関節のこわばりを取り除いて、関節の可動域を広げる関節可動域訓練を組み合わせて行うことが一般的な治療になります。

関節可動域訓練とは、関節の周りにある靭帯、筋肉等が炎症を起こし関節自体が固くなる場合があります。関節が固くなり動けるはずの範囲が制限された状態を関節可動域制限といいます。この関節可動域制限を改善するためのリハビリのことを関節可動域訓練と言います。

関節可動域訓練は、理学療法士のいるデイケアサービス等で実施しておりますので、利用を検討されるときは高齢者なんでも相談室に相談して下さい。

医務だより

夏の三大感染症と言われるのは、プール熱(咽頭結膜炎)、ヘルパンギーナ、手足口病です。

プール熱は、プールの水を介して流行することが多く、39~40℃の高熱、のどの痛み、目の充血などの症状を引き起こします。新型コロナウイルスと同様、飛沫感染、接触感染するので、日常生活の中で感染することが

あります。

ヘルパンギーナは、乳幼児がかかりやすい代表的な夏風邪です。高熱、口腔内に口内炎のような赤い発疹や水疱がプツプツと出ます。熱性けいれんや脱水症で重症化することもあります。これも飛沫・接触感染ですが、その中でも、糞口感染があり、ウイルスが便中に排出されるため、おむつ交換した際に手指に付着し、手洗いが不十分なまま、口や目・鼻を触ったり、食べ物を扱ったりして大人が感染してしまいます。大人が感染すると重症化し、脳炎や髄膜炎、心筋症などを誘発することがあります。

手足口病は、口腔内や手のひら、足の裏に水疱性の発疹が出て、発症者の3分の1に発熱がみられます。これも、飛沫・接触感染が感染経路です。糞口感染で大人が感染するリスクがあり、大人は症状が重く発疹の痛みが強いようで、全身倦怠感や悪寒、関節痛、筋肉痛などの症状が出ることがあります。また、手足口以外にも、肘や膝、お尻に発疹がみられることがあり、近年はお尻に出る傾向が強くなっているようです。密閉・密室・密集の3密を避け、熱中症にも気をつけながら体調管理していきましょう。

編集後記

今年は、例年と比べ気温の寒暖差が激しい様に感じます。雨の日が続いたかと思うと晴れの日が続いたり、五月の末には真夏の様な天気でした。急に雲行きが変わり、バケツをひっくり返したような雨が降る事もありました。

五月の上旬にアボガドを購入し食べ終わった後に種を水につけてみると六月に入ると前には、種から芽と根が始め、だいぶのびてきたので土に移し替えました。

葉をつけ、大きくなってくればと思います。気候の変動に負けずに頑張ってください。

広報委員

